

講義名	企業文化論			授業形態	
担当教員	平井 直樹	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

**主題と概要**

企業は、企業と従業員の間で共有されている価値観や行動様式・生活習慣といった文化（企業文化）で成り立っています。こうした企業文化は、社員の行動に、さらに経営や事業活動にも大きな影響を与えます。本講義では、企業文化とはどのようなものかを理解するとともに、代表的な企業事例をとりあげることによって、企業文化への理解を深めていきます。

**到達目標**

- (1)「企業文化」の基本的な理解および、価値観や行動にどのような影響を与えるのかを理解できるようになる。
- (2)具体的な企業例を元に、企業文化について説明できるようになる。

**提出課題**

- (1)授業回ごとに小テストやリアクションペーパーの提出を求めます。
- (2)複数回の授業を総括したレポートの提出を求めます。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

授業にて、全体にフィードバックを行います。

**評価の基準**

- (1)小テストやリアクションペーパー（60%）、および期末レポート（40%）を元に総合的に評価します。
- (2)期末レポートが未提出の場合は、自動的に「放棄」として扱います。
- (3)6回以上の欠席は、自動的に「放棄」として扱います。ただし、これは「5回まで欠席してもよい」という意味ではありません（欠席が多いほど当然ながら評価は厳しくなります）。
- (4)感染症等の欠席届の対象となる事由の場合は、所定の手続きを行うことで配慮します。

**履修にあたっての注意・助言他**

- (1)授業を妨げるような行為、他の受講生の勉強の妨げや迷惑行為は厳禁です。
- (2)公共交通機関の遅延などを除き、大幅な遅刻や欠席は、欠席として扱います。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.企業文化(コーポレートカルチャー).	松村洋平他	学文社	2530	4762014958
.企業文化 改訂版. ダイバーシティと文化の仕組み.	E.H. シャイン	白桃書房	3850	4561236759
.理念経営2.0 会社の「理想と戦略」をつなぐ7つのステップ.	佐宗邦威	ダイヤモンド社	2420	4478114501

**その他**

- (1) 講義資料は、授業ごとにキャンパスクロスにアップロードしますので、各自で確認してください。教室内での資料配布は行いません。スマートフォンでの閲覧は推奨しません。
- (2) 記載以外の参考図書は、各授業回において適宜案内します。

**授業計画**

- オリエンテーション(全体説明)・企業文化の基本概念
- 企業文化の歴史的な変遷
- 企業文化の理論的枠組み
- 企業文化の形成要因
- 企業文化の測定と評価
- 企業文化とリーダーシップ
- 企業文化と従業員エンゲージメント
- 企業文化とブランドイメージ
- 企業文化とイノベーション
- 企業文化と多様性
- 企業文化と戦略
- 企業文化とテクノロジー
- 企業文化の課題と解決策
- 企業事例
- まとめ・最終レポート課題についての説明

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A.L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

<予習>  
 授業回の主なキーワード、トピックを確認しておく(1時間程度)  
 <復習>  
 講義資料を元に、リアクションペーパーを作成する。何を学んだかについてまとめるとともに、それに対する自身の意見を記述する(2時間程度)  
 予習と復習合わせて、1回の授業で3時間程度(15回の講義で計45時間)が必要となる。  
 <期末レポートへの取り組みに要する時間>  
 これまでの講義資料の復習、課題の調査、レポートの作成で15時間程度が必要となる。  
 合計で約60時間の準備学修(予習・復習等)となる。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

卒業認定・学位授与の方針に基づく人材として、知識を知恵に転換することができる論理的思考力の土台を築き、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材の養成に貢献する。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

小テスト課題やレポート課題等は、オンラインツールを活用して実施します。

**実務経験の有無及び活用**

約15年間ソフトウェアエンジニアとして実務経験があり、また、国内ビジネススクールでの教鞭の経験もあります。最新のビジネス事情も踏まえた理論、事例等を提示します。

**備考**